

# なとり市議会だより

2025.5.1 No.190 令和7年2月定例会の内容をわかりやすくお伝えします。



## CONTENTS

- 議員が聞いたこんなこと…………… P2
- 令和7年度の税金の使い道を…………… P12  
チェックしました
- 政策提言書を提出しました…………… P16
- N-WATCH (名取市女性防火クラブ)…………… P18

# 議員が聞いた

## こんなこと

# 一般質問

### 一般質問とは

皆さんの生活に関わる大切な内容について  
市議会議員が市に対して質問を行います。

2月定例会では、16人の議員から30項目の  
質問がありました。

一般質問を含めた本会議の内容は、録画  
でも配信しています。市ホームページの  
「議会中継」から御覧ください。



子育て

待機児童数ゼロ維持のため  
認可外施設の情報提供を



鈴木 英信

**Q** 保育施設の利用調整結果  
通知書を受け取った方のう  
ち、辞退した人数及び入所  
保留となった人数は。

**A** 令和5年3月31日までの  
新規申込者のうち、内定辞  
退は32人、保留が54人であ  
った。令和7年1月末時点  
の内定辞退は6人、保留が  
133人であった。

**Q** いわゆる隠れ待機児童の  
133人をどう捉えている  
か。

**A** まだ流動的な数字だが、  
令和6年の同時期と比較し  
ても大きく増えている。最  
終的には保留児童数は令和  
6年より大きく上回ってい  
くと捉えている。

**Q** 待機児童数ゼロを維持す  
るために、課題をどのよう  
に捉え取り組んでいくのか。

**A** 就学前児童数が減少する  
中で申込み率は増加してお  
り、毎年の申込み数の変動  
も大きく、長期的な保育の  
ニーズを捉えることが大変  
難しくなっている。現段階  
では待機児童数ゼロを維持

することは非常に難しいと  
見込んでいる。当面は既存  
の施設を活用しながら、ま  
ちづくりに合わせて保育施  
設の在り方を総合的に検討  
していく。

**Q** 待機児童の受入先となる  
認可外保育施設の詳細な情  
報を、市ホームページ等で  
提供すべき。

**A** 保護者の保育の選択肢を  
広げる観点からも、現在以  
上に詳細な情報を提供でき  
るよう取り組む。

質問した内容

- 1 保育児童の受入れの現状
- 2 子育て環境の改善に取り組  
む地元企業への支援



教育

中学生に空道など多様な  
スポーツに接する機会を



佐藤 繁樹

**Q** 地域移行後の部活動の理想像を伺う。

**A** 現在の部活動に代わりうる活動の機会が地域の中で作られ、生徒自らが自由に選択して活動できるようになることである。

**Q** 教育委員会が部活動に関するガイドラインを設けて、勝利主義等の行き過ぎた部活動へのチェック機能を持つべき。

**A** 既に数年前にガイドラインを作成し、各学校に周知し、その徹底を図っている。

**Q** スポーツ本来の楽しむことを主とした複数スポーツに取り組む部活動があると、運動能力や積極性をより向上させることにつながると考えるがどうか。

**A** 基本的には、共感するところが多いと感じている。小さいうちから特定の種目に特化した練習等をあまり行うべきではないという人も多い。

**Q** 地域移行後の部活動は、子供の可能性を伸ばすこと



1 質問した内容  
中学校部活動の地域移行

**A** 現在中学校で行っている部活動に限らず、多様な種目や活動が選択できるようにすることが望ましいと考える。

環境

窓付封筒のフィルムを  
グラシン紙に変更すべき



菊地 忍

**Q** 市が送付する各種書類が封入されている封筒のうち、住所や氏名が見える、いわゆる窓付封筒は窓の部分に透明のフィルムを使用している。このフィルムは紙ではないため、資源ごみとして出す場合にはフィルムを取り外さなければならぬ。

**A** しかし、フィルムを取り外すのは面倒なため、そのまま焼却ごみとして出す方も多いと思われる。

**Q** そこで、一部の自治体や企業では、環境に配慮し、紙で作られた窓フィルムグラシン紙を使用した窓付封筒を採用している。本市でもフィルムではなくグラシン紙のものに変更すべき。

**A** 市が送付している窓付封筒は、フィルム部分は切り取ってプラスチック資源に、紙の部分は紙製容器包装類と2種類に分別し、リサイクルしていただいている。

**Q** フィルム部分がグラシン紙であれば分別の手間がなくなるため、リサイクルの



質問した内容  
1 環境に配慮した取組  
2 ヤングケアラー

**A** 令和6年度は11の部署で約48万枚購入している。

**Q** 市が送付している書類のうち、窓付封筒を使用しているものはどれくらいあるのか。

**A** 促進になると考える。今後、窓付封筒をグラシン紙の仕様に変更した場合の課題を整理し、全庁的な導入について検討したい。



政策

なとりコインとみやぎポイント  
を連動させるべき



大友 康信

**Q** ナトぽたと県が活用しているポケットサインとの連携の現状は。

**A** ナトぽたのサービス一覧にポケットサインのショートカットアイコンを設けており、利用者の設定により、トップ画面に表示が可能となっている。ただし、アプリ間のシステムの連携までは行っていない。

**Q** なとりコインとみやぎポイントの連動の現状は。

**A** システムを開発している事業者が別であるため、相互利用やポイント交換といった連動は現時点ではなされていない。

**Q** 本市のDX事業が市民に浸透して、より効果的に活用されるように、県と連携してポケットサインや、みやぎポイントと連動できるように改良すべき。

**A** 連動させることにより、どのように市民の利便性を向上させることができるかを、しっかり見定める必要がある。情報収集も含めて、

今後とも県の動向を注視しながら情報共有したい。

**Q** 県との連携や、なとりコインとみやぎポイントの研究を進めるべき。

**A** 時代の流れでデジタル技術を活用した行政運営や市民サービス、まちづくりを進めていく中で、試行錯誤しながら連携の在り方等もしっかりと研究していく。

質問した内容

- 1 本市における有機フッ素化合物への対応
- 2 DXの推進



政策

学校給食費の完全無償化を  
早急に進めるべき



笹森 波

**Q** 学校給食費無償化に段階的に取り組んできた経緯がある。今後、どのように進めていくのか伺う。

**A** 給食費無償化は本来、国の施策として進めるべきものと考えており、現在、国で進めている無償化の議論の動向等を注視するとともに、引き続き市長会を通じて国に要望を行いながら検討していく。

**Q** 今後も物価高騰の影響で給食費は値上げする可能性がある。保護者負担が増大することについての考えは。

**A** 学校給食運営審議会の答申によると、小学校は300円のところ325円でプラス25円、中学校は370円のところ400円でプラス30円である。令和7年度の小学校給食費値上げ分は、国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を充てることで、保護者負担は令和6年度単価と同様に据置きとなる予算措置をしている。

**Q** 学校給食費完全無償化を早急に進めるべき。

**A** 令和5年9月の文部科学省の調査結果では、約3割の自治体で学校給食費の完全無償化を実施しており、本市としても早急に進めたいという思いはある。しかし、対応できる恒久的な財源の確保の見通しが立っていない。引き続き、国の議論の動向を注視するとともに、要望を行いながら検討を進めたい。

質問した内容

- 1 学校給食費無償化
- 2 災害時のトイレ対策





板橋 美保

## Q 一側性難聴者に対する支援体制の現状と課題は。

**A** 令和5年度より新生児聴覚検査費用の助成を開始し、乳幼児健診では難聴が疑われた場合に、宮城県医師会ヒヤリングセンターにつなぎ、早期支援を行っている。成人の場合は、医療機関の受診の遅れから聴力の改善が見込めなくなるケースがある。早期治療の重要性を広く周知し、医療機関につなげるのが課題と捉えている。

**A** 一側性難聴に該当し、市内小中義務教育学校に通う児童生徒は18名である。座席の配置、視覚資料を用意するなどの配慮をしている。

**Q** 一側性難聴に関する認知度向上と正しい知識の普及に取り組むべき。

**A** 難聴児の原因は、先天的異常が約半数で、次いで、おたふくかぜの後遺症が代表的と言われているため、新生児聴覚検査の受診勧奨とおたふくかぜワクチンの

耳マーク  
Ear symbol

## 質問した内容 1 一側性難聴者への理解と支援

有効性を周知する。成人期の難聴の原因は約半数が突発性難聴であるため、ストレスや睡眠不足、疲労などの蓄積に留意し、異変に気づいたら早めに医療機関を受診するなど、難聴の原因や予防法をホームページや、なとらじ等で周知啓発する。

**A** 一側性難聴に該当する児童生徒を学校全体として支援できるよう取り組む。

## 2 消防団の在り方



寺嶋 雅子

## Q 屋外施設における機材更新及びメンテナンスの状況は。

**A** おもしろ自転車の実用年数は10年程度のため、長期間利用できるよう適宜、修繕を行っている。

**Q** おもしろ自転車の破損が目立つが、安全面や利用者数についての影響をどのように捉えているのか。

**A** 広場内を自由に走行できる運用をしているため、伸び伸びと楽しめる一方で、外柵や自転車同士の接触もあり、外装が破損しているものがある。破損が激しいものや、走行が不能となったものは、貸出し不可として業者による修繕を行っているが、比較的軽微な破損は、指定管理者が自前で修繕を行い、安全性を確認した上で貸出しを続けている。

**Q** おもしろ自転車のメンテナンスや更新のサイクルについて基準を定め、常に良好な状態で利用できるように更新を行うべき。



## 質問した内容 1 名取市サイクルスポーツセンターの利用促進

**A** メンテナンスや更新は、予算の範囲内で随時対応してきたが、行き届かない部分もあったため、指定管理者と協議の上、新たに更新やメンテナンスに関する基準を定めて運用していく。

**Q** おもしろ自転車を企業から提供いただき、企業のロゴをつけるようなスポンサー制度を創設してはどうか。

**A** 様々なアイデアを絞りながら、引き続き魅力ある施設にしたい。

福祉

## 独り暮らしの高齢者福祉を強化すべき



佐藤 さやか

Q

現在、本市で実施している独り暮らしの高齢者をサポートする事業には、どのようなサービスがあるのか。

A

ひとりぐらし老人等緊急通報システム事業や、ひとりぐらし老人等日常生活用具給付事業がある。そのほか、独り暮らしを要件としていなくとも、利用できる事業として、訪問理美容サービスや在宅寝たきり老人等紙おむつ支給事業、認知症高齢者情報を事前登録する「無事かえる事業」などがある。

また、市内4か所の地域包括支援センターでは、高齢者の総合相談窓口として相談支援を行っているほか、みやぎ生活協同組合など8か所の事業所と高齢者等の見守りに関する協定を締結しており、支援が必要な高齢者の早期発見、早期対応につなげる取組を行っている。

Q

今後、独り暮らしの高齢者の増加が見込まれる中、



### 質問した内容 1 独り暮らしの高齢者福祉

見守りサポーター制度や安心して最期を迎えることができる終活支援等を検討すべき。

見守りに関しては、様々な事業所と協定を締結しているほか、地域の方々のボランティア活動の中で行っていたりしている。終活支援としては、令和6年12月、終活に関する市民講座を開催し、名取市版エンディングノートの作成を進めている。今後は、包括連携協定を締結した宮城県司法書士会と連携した取組も検討していきたい。

Q

宮城県みどりの食料システム戦略推進基本計画における本市の取組は。

A

自動操舵システム等の農業機械導入や園芸施設に係る補助及び圃場整備の推進、環境保全米の生産、学校給食への提供、なとり・ぐるっと親子講座等の地産地消及び食育の推進などに取り組んでいる。

Q

令和7年4月に、仙台・岩沼市・名取岩沼・みやぎ亘理の4つのJAが合併し、県内最大のJAとなる。本市における影響をどのように捉えているか。また、連携強化のため、合併後のJAと包括連携協定を締結すべき。

A

合併後の詳細な運営体制、組織体制等を承知していないため、影響までは捉え切れていない。これまで同様、市内組合員に対する行政支援については、可能な限り影響を少なくするよう意を用いていく。また、包括連携協定については、関係自

農業

## 市民農園や道の駅設置に取り組み都市農業の推進を



千葉 栄幸

Q

治体も多く、その必要性、連携内容、本市単独で検討すべき内容であるかなど、今後の調査研究課題とする。

Q

市民農園の開設や、農産物直売所・シェアキッチン等を併設する道の駅設置に取り組み、農業の理解促進と地産地消にもつながる都市農業を推進すべき。

A

環境にやさしい持続可能な消費の拡大や食育・地産地消の推進施策の在り方について、今後の調査研究課題とする。

### 質問した内容 1 本市における食と農 2 終活支援



## 50歳以上を対象に带状疱疹ワクチン接種費用の補助を



菅原 和子

Q

国は令和7年4月から带状疱疹ワクチンの定期接種化を決定した。対象年齢は65歳以上とし、5年間の経過措置期間中は、70歳から100歳まで5年刻みで接種対象となり、費用の一部が公費負担となる。また、60歳から64歳までの基礎疾患のある方も対象となる。

Q

市の独自接種は、検討しなかったのか。

A

現在は検討していないが、全国で70歳を超える自治体が実施している実態を踏まえ、また、様々な声をいただいているため、前向きに検討していく。

Q

50歳代の発症率が2割と言われており、働き盛りの世代で合併症による生活への影響等が懸念され、医療費にも大きく影響すると考えるが見解は。

A

医療費削減という観点からも検討を進めたい。

A

带状疱疹の発症率は年齢とともに増加する傾向にある。国が65歳以上に定めた理由として、50歳から60歳代と比較して70歳代以降で増加すると言われていることや、ワクチンの有効性は、年々一定程度減衰すること等が考慮されている。まずは国のこの考えに準拠し、定期接種の実施に向け体制の整備に努める。

### 質問した内容

- 1 市民の健康を守る取組
- 2 おくやみ手続のサポート
- 3 防犯対策

## バリアフリー化のため第一中学校にエレベーターを



小野寺 美穂

Q

緊急防災・減災事業債（以下緊防債）を活用し、指定避難所である第一中学校にバリアフリーの観点からエレベーターを設置すべき。

A

各学校においても必要と考えられる設備であることから、長寿命化計画への位置づけの検討や、今後の大規模改修等の設計の際に個別に判断したい。

Q

給食の配膳用に必要であることから派生した件である。エレベーターの設置については文部科学省も目標値を定めて進めようとしている。市の長寿命化計画とは別に、時限的な緊防債を活用し前倒しをする考えは。

A

様々な補助金を活用し、バリアフリー化を進めていきたいとは考えているが、財政負担が大きいことから市長部局と調整をしながら進めたい。

緊防債は避難所として使用する場合に活用できる。

避難場所が2階以上の場合には活用できるが、一中は1

Q

階が避難所として指定されているため、活用できるか確認していない。

A

緊防債を活用し、熱中症対策の観点から指定避難所となる公共施設の空調設備の整備を早急に行うべき。

A

未整備の学校体育館及び公民館ホールが多いことが課題である。市民体育館での試験導入の状況を踏まえて教育委員会とも相談しながら進めたい。

A

地球温暖化や猛暑等により、整備の必要性が高まっている。計画的に取り組む必要があると考える。

### 質問した内容

- 1 国の令和7年度予算における緊急防災・減災事業及び「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」事業



安全  
通学路の街路灯は児童生徒の  
声も聞いて設置すべき



大久保 主計

Q 第二中学校の名取市政への要望書発表会で、通学路への街路灯設置について発表された。通学路の安全安心の対応について、現状をどのように捉えているか。

A 夜間における児童生徒の防犯や通行の安全上、支障がある場合は、優先的な設置に取り組んでいる。

A 危険箇所や街路灯設置の要望については、各関係機関で対策を検討し、可能な改善を図っている。

Q 生徒から街路灯設置の声を受けて、今後の学校周辺への取組は。

A これ以上の街路灯設置は困難であるが、歩道の路肩に視線誘導標を一定の間隔で設置している。

Q 街路灯はあるが暗いという現実の改善について、見解は。

A 明るさは主観的な部分もあるため、我々が考える基準と子供が実際に感じていることを踏まえ対応を検討したい。

Q 生徒からの提案では、街路灯の色に着目した犯罪抑止効果や周辺への光害対策、費用や優先順位にも言及されていた。通学路に防犯機能や光害に配慮した街路灯を設置して、児童生徒の安全安心を確保すべき。

A 通学路の防犯対策の中で、調査研究を行っていく。

Q 当事者の声を聞くことは政策展開で必要かつ当たり前の視点である。通学路の街路灯設置について、当事者である児童生徒の声を聞いて取り組むべき。

A 児童生徒の声を直接聞く機会の創出に意を用いたい。

- 質問した内容
- 1 通学路の街路灯設置
  - 2 地域コミュニティーの推進
  - 3 休日夜間急患センター

政策  
既存住宅地の人口維持に  
向けた空き家対策を



吉田 良

Q 名取市第六次長期総合計画の初年度から現在までの人口動態の推移は。

A 自然減を社会増が補い、全体としては微増となっている。東北6県から宮城県、仙台市へ集まり、関東圏に転出していく構図である。

Q 報道によると、本市では5774人の人口増を想定し、4地区の市街化区域編入案が進行しているが、需要予測の根拠は。

A 総合計画における目標年次の推計人口8万5千人を視野に、各土地地区画整理事業における計画人口を基本に約5800人と設定し、県に認められた。

Q 本市における空き家数及び空き家率の将来予測は。

QA 既存住宅地の人口維持に向けた空き家対策をすべき。

A ひとりマイホーム応援補助金や空き家有効活用支援事業補助金を支給し、空き家バンクも運営している。

Q 民間企業の空き家管理

A サービスをふるさと寄附の返礼とするのはどうか。

A そのような企業が市内にあるかどうかも含め、実施可能か研究したい。

Q 空き家の除却費の補助や固定資産税の減免など、他自治体の取組を参考に導入を検討してはどうか。

A 税制等については対応しており、分かりやすい周知を心がけていきたい。

Q 所有者からは正の協力を得られない迷惑空き家を、管理不全空き家や特定空き家に認定する考えは。

A 慎重に判断し、対応を検討していきたい。

- 質問した内容
- 1 虚偽の住民登録に基づく就学の件
  - 2 本市の人口動態と空き家対策

全国の総住宅数・空き家数・空き家率の予測

|          | 2028年 | 2033年 | 2038年 | 2043年 |
|----------|-------|-------|-------|-------|
| 総住宅数(万戸) | 6,750 | 6,979 | 7,180 | 7,354 |
| 空き家数(万戸) | 1,049 | 1,277 | 1,554 | 1,861 |
| 空き家率(%)  | 15.5  | 18.3  | 21.6  | 25.3  |

※株式会社野村総合研究所  
2024年6月13日発表

住宅の約4分の1が空き家に

安全

## 増田承水路の維持管理を 本市で行うべき



二階堂 充

**Q** 増田承水路に係る本市、仙台市、名取土地改良区の3者で締結している維持管理協定の概要は。

**A** 都市排水量は本市分が毎秒9立方メートル以内、仙台市分が毎秒11・11立方メートル以内としており、水門の整備費、樋門の電気料、刈払いなど維持管理経費の負担割合は、本市と仙台市と名取土地改良区で各々3分の1、浚渫費用の負担割合は本市と仙台市で各々2分の1である。

**Q** 増田承水路の施工時と現在の土地利用（農地、宅地等）の変化は。

**A** 増田承水路施工時の受益面積（農地面積）は約280畝で、現在は約140畝と半減しており、宅地化が進み農地が減少している。

**Q** 名取土地改良区が行う増田承水路の維持管理を、地域住民を水害から守るべき立場の本市に移管すべき。

**A** 増田承水路には都市排水の流入もあり、平成5年に締結した維持管理協定に基

づき、維持管理の経費を本市が負担している。台風等の豪雨時は用水の取水を行わないため、農地を含む周辺地域からの雨水排水を行うこととなるが、平時は農業用施設として使用することから、引き続き名取土地改良区と連携を図り対応する。

**Q** 名取土地改良区と協議の場を設けるべき。

**A** 市民の安心安全につながることを相談は喜んでお受けし、話し合いもしたい。

質問した内容  
1 名取土地改良区が管理している増田承水路の本市への管理の移管



環境

## 自然を生かした地域づくりを 進めるべき



郷内 良治

**Q** 五社山自然散策路愛島台ルート登り口付近を整備すべき。

**A** 自然のままの山道を歩いていただく場所だが、登り口近くに駐車場を整備し、来訪者がより歩きやすくなるような工夫などを検討したい。

**Q** 五社山を生かした自然野外活動センターの建設を検討すべき。

**A** 都市計画マスタープランの愛島地区の主な施策において「五社山周辺や川内沢ダムを整備に伴う自然を楽しむための環境整備」というたっていることから、自然と親しむことができる環境整備に継続して取り組む。自然野外活動センターの建設の可能性を今後も探りたい。

**Q** 市民から請願を受けたパークゴルフ場整備について、どのように検討したか。

**A** 教育委員会での検討も踏まえながら、市としても整備の可能性を検討する。

**A** 名取市体育施設整備方針の策定業務の中で、新たなスポーツ施設の整備や市民へのアンケートなども含め、施設整備全体の中で検討する。

**Q** 市民から強く要望されているパークゴルフ場を早期に整備すべき。

**A** 市域全体や競技ごとのバランスを見ながら総合的に優先順位を定め、整備の可能性を検討したい。

**A** 今後も市民のニーズを聞きながら、市域全体の整備の在り方を検討する。

質問した内容  
1 自然を生かした地域づくり  
2 用水路のごみ問題  
3 不登校問題





阿部 正義

**Q** 小学校で行っている教科担任制の現状は。

**A** 全小中学校の主に高学年で、外国語や理科を中心にやっている。

**Q** 全ての小中学校で同じ内容の取組をしているのか。

**A** 全て一律ではなく、学校の実情に応じて行っている。

**Q** どのような背景から教科担任制に差があるのか。

**A** 児童生徒数や学級数により教員が配置されるため、学校によって状況が違う。

**Q** 教科担任制の拡大を進めるべきと考えるがどうか。

**A** 教職員定数の見直しや加配の充実が必要となる。引き続き、国や県に要望していく。

**Q** チーム担任制を行っている自治体がある。本市小中義務教育学校で導入すべき。

**A** 学級担任を1人に固定せず、学年全体の児童生徒を複数の教員で対応するチーム担任制は、子供や保護者の対応を担当が1人で抱え込むことを防いだり、一人



1 質問した内容  
2 救急対応  
3 学校教育体制

一人の児童生徒を複数の教員の目で見ると、早期に問題の解消につながられるなど有効と考える。一方で、教職員の定数に余裕がないと、その効果が期待できない。なお、一部の中学校で次年度に向け、チーム担任制の導入を検討している。現在の体制の中で取り入れることができるよう、その他の学校にも働きかけたい。

## 2月定例会

## 議案審議

## 名取市の

## こんなことが決まりました

2月定例会 会期 2月20日～3月21日

### 2月定例会の議案は

#### 市長提出議案 42件

条例……………8件

新年度予算……………10件

補正予算……………11件

議決案……………13件

#### 議員提出議案 2件

意見書……………1件

条例……………1件

計44件

提出された議案の概要は、市議会ホームページの「議案概要」を御覧ください。





〔議案第20号〕 農業集落排水事業を公共下水道事業に統合することに伴う関係条例の整備に関する条例

## Pick up 1

### 大曲地区の農業集落排水事業を 公共下水道事業に統合します

施設の維持管理費や更新費等を抑制し、下水道経営の健全化を図ることを目的に、農業集落排水事業を公共下水道事業に統合します。今回、大曲地区を統合することで、本市の農業集落排水事業は全て廃止となります。

こんな質疑がありました

**Q** 今回の改正による使用料金などの、利用者への影響は。

**A** 使用料金は、従前どおり公共下水道と同じ料金であり、徴収方法等も従前と変わらないことから影響はない。

**Q** 公共下水道の既存管に接続する新設管の工事の時期と期間は。

**A** 工事はすでに完了しており、通水確認等を行った後、令和7年4月1日から供用開始とする。

〔議案第26号〕 令和6年度一般会計補正予算（第13号）

## Pick up 2

### 市内29か所の避難所に折り畳み ベッドを配備します

こんな質疑がありました

○防災対策事業について

**Q** 防災費中、消耗品費の内容は。

**A** 避難所に折り畳みベッドを導入する費用として計上している。

**Q** 折り畳みベッドの購入予定台数は。

**A** 予備も含め1千台を購入し、避難所29か所に30台ずつ配備する予定である。

**Q** 避難所資機材購入費の内容は。

**A** 発電機、蓄電池、ブルーヒーター、間仕切りセットの購入を予定している。

**Q** 保管予定場所は。

**A** 既存の施設などのほか、新たに設置予定の防災倉庫に保管する予定である。

○高齢者等ごみ出し支援事業補助金について

**Q** 高齢者等ごみ出し支援事業補助金の減額の内容は。

**A** 当初は200世帯に対して年間1万2千円で積算したが、令和7年2月末日で10世帯の申込み状況であることを勘案して減額する。

**Q** 利用者が少なかった要因は。

**A** 対象世帯は潜在的にもう少しいと思うが、見込みが過大になってしまった。利用したい方々に制度の説明が行き届くよう、周知していきたい。

## 一般会計 歳入

### 市税は過去最高額を 見込んでいます

歳入約365億8,500万円のうち、市税では前年比約8億3千万円増の過去最高となる約129億9千万円を見込み、地方交付税は、前年度比約2億7千万円の増の29億円を見込んだと説明がありました。

使用料・手数料では、市民墓地の内訳について、総区画数2,438に対して令和7年2月現在、使用許可区画数が956区画で、残りは1,482区画である。その内訳は一般墓地678区画、芝生墓地352区画、被災者墓地452区画であるほか、芝生墓地の需要が高く、令和13年頃には全てが使用許可区画となる見込みであると説明がありました。



## 令和7年度 予算審査

### 税金の使い道を チェックしました

#### 一般会計・特別会計・企業会計総額

## 599億2,381万円

市長から提出された令和7年度の予算について、財務常任委員会において審査を行いました。

財務常任委員会では、一般会計歳入・一般会計歳出・特別会計・企業会計の全てを全体会で審査しました。

財務常任委員会の内容は、録画でも配信しています。市ホームページの「議会中継」から御覧ください。



## 一般会計 歳出②

### 田んぼダムを 増やします

農林水産業費では、田んぼダムの取組により、貯水能力を上げ、大雨時の流出抑制や稲刈り後のわら等の水路への流入を抑制する効果もあると説明がありました。

商工費では、プロフェッショナル人材活用支援事業補助金は、事業者の経営課題の解決に向け、人材採用や販路拡大、業務効率化など特定の分野で、専門的な知識と経験を有する人材を活用する際の経費の一部を補助すると説明がありました。

土木費では、ドローンを導入し、災害時の被災箇所の写真や動画の撮影、公共施設の点検調査に使用すると説明がありました。



## 一般会計 歳出①

### 名取駅コミュニティプラザで 期日前投票を実施します

総務費では、期日前投票所をコミュニティプラザにも設置予定で、投票日直前の水曜日から金曜日までの、10時から20時までの予定で実施すると説明がありました。

民生費では、屋内遊戯施設の予約方法について、ウェブ上の予約システムを使用し、利用日の10日前から受付ができると説明がありました。

衛生費では、宅配ボックス購入費補助金について、宅配荷物の再配達防止の観点から、住宅に器具で固定する宅配ボックスを設置した場合、先着順で費用の一部を補助すると説明がありました。



## 特別会計 企業会計

## 納税相談体制の 充実を図ります

国民健康保険特別会計では、物価高騰などの影響による納税困難者に対し、市税と同様に休日相談に加え、夜間の納税相談も実施し、相談体制の充実を図ると説明がありました。

介護保険特別会計では、チームおれんじの活動拠点を数か所つくり、認知症地域支援推進員をコーディネーターとした認知症カフェ等での活動を支援すると説明がありました。

水道事業会計では、仙台市との分水契約は令和6年度までだが、引き続き契約するための協議の体制が整っておらず、1年間延期するとの説明がありました。



## 一般会計 歳出 ③

## 市民体育館武道場に エアコンを設置します

教育費では、熱中症対策として、市民体育館武道場にエアコン2台を常設すると説明がありました。また、アリーナ2階にはエアコン6台を設置し、引き続き熱中症対策の効果を検証していくと説明がありました。

消防費では、令和4年度に策定した防災マニュアル及びハザードマップについて、内水ハザードマップを加えて更新するとともに、令和2年度に策定した閑上及び下増田地区の防災マニュアルについても、津波避難計画を踏まえて内容を更新すると説明がありました。



## 予算審査 総括質疑

# 令和7年度の取組を聞きました

### 総括質疑2

会派名 名取医療福祉会 佐藤 さやか 議員

### なとりっこすくハピ応援事業の内容は

**Q** なとりっこすくハピ応援事業の具体的内容は。

**A** 子供の出生や成長をお祝いし、安心して子育てができる優しいまちづくりを目的とした事業である。

出生及び転入したゼロ歳児に絵本と1万円相当のなとりコインを贈呈する。また、3歳6か月児健康診査の対象児童へは、図書館にて絵本を贈呈する。絵本を通して子供が笑顔で健やかに育つ後押しになるように努めていく。

### 総括質疑1

会派名 日本共産党議員団 笹森 波 議員

### 小学校水泳授業の取組は

**Q** 令和6年度の高館小学校を対象とした民間のスイミングスクール水泳指導では、効果的な結果を得られたとあるが、その結果を踏まえた令和7年度の取組は。

**A** 令和6年度はモデル事業として実施したが、令和7年度からは本格実施と位置づけ、事業を継続する。

また、規模の大きな学校におけるモデル事業として、愛島小学校と増田西小学校において水泳指導等業務委託モデル事業を実施する予定である。児童数の多い学校においても、継続した業務委託が可能か検証していく。



#### 総括質疑4

会派名 市民クラブ

千葉 栄幸 議員

#### 交通指導隊の適正運用に向けた変更点は

**AQ**

**防火協力会連合会等補助金の増額理由は、**  
女性防火クラブ連絡協議会7地区のクラブ員の法被を一斉更新するためである。

等々を予定している。  
報酬の新設及び四半期払いから月払いへの変更

である45人分を予算措置する。  
報酬の支払い等は、活動実態に合わせた報酬

化や地域の実情に合わせ柔軟に対応する。  
人員数は現在39人だが、設置要綱の定数上限

であり、現時点で変更の予定はないが、環境の変  
化や地域の実情に合わせ柔軟に対応する。

**A** 交通指導隊の配置場所や人員数及び報酬の支  
払い等、適正な運用に向けた変更点は。

**Q** 配置場所は主に小中学校周辺の横断歩道等で  
あり、現時点で変更の予定はないが、環境の変

#### 総括質疑3

会派名 公明名取

菅原 和子 議員

#### 带状疱疹ワクチンの予防接種の助成内容と周知方法は

**A**

ワクチン接種に当たり、定期接種者の個人負  
担額は、生ワクチン接種4500円、組換えワ  
クチン接種1回当たり1万1千円を2回と想定  
している。

周知方法として、対象者の方には個別通知に  
よる接種勧奨を行うほか、広報なとり、市ホー  
ムページ、なとりで周知するとともに、市内  
医療機関にポスター掲示を行う。

**Q**

令和7年度から带状疱疹ワクチンが定期接種  
化され、厚生労働省より具体的な内容が示され  
た。その内容を受けた、本市における生ワクチ  
ンや不活化ワクチンの予防接種の助成金額や周  
知の方法は。

#### 総括質疑6

会派名 青雲倶楽部

二階堂 充 議員

#### 部活動地域移行推進事業の進め方は

**AQ**

**部活動地域移行推進事業の進め方は、**  
地域移行に係る仕組みづくりや課題の検討を  
名取市部活動地域移行協議会で行い、令和7年  
度は4回開催を予定している。協議会の意見を  
参考に、市独自のガイドラインを定め、実施可  
能な種目等から取り組む。

との連携を図っていく。  
利用者の居住地にかかわらず予約システムに  
よる完全予約制とする。また、月1回程度のイ  
ベント企画を考えており、その中で子育て機関

**A** 利用者の居住地にかかわらず予約システムに  
よる完全予約制とする。また、月1回程度のイ  
ベント企画を考えており、その中で子育て機関

**Q** 屋内遊戯施設なとりぱーくの市内外利用者へ  
の対応方法及び子育て機関との連携等、運営内  
容は。

#### 総括質疑5

会派名 名和会

板橋 美保 議員

#### 田んぼダムは関係者との協議内容等をどう反映させたのか

**A**

空き家・空き地対策が必要な既成市街地を含  
む区域に居住を誘導し、市街地間を公共交通で  
結ぶことにより、持続可能で安全・安心な都市  
形成を目指す。居住を誘導する区域での市街地  
間の公共交通の充実などにより、長期的に人口  
の誘導が図られる。

**Q**

空地適正化計画制度の創設目的であるコンパ  
クトなまちづくりの進め方は。

で課題を的確に捉え、反映していく。  
立地適正化計画制度の創設目的であるコンパ  
クトなまちづくりの進め方は。

**A**

効果を説明し、取組について協議した。取り  
組みやすい環境の構築と、関係者の理解を深め  
ていくことが重要であり、取組を重ねていく中  
で課題を的確に捉え、反映していく。

**Q**

田んぼダム開始に当たり、関係者との協議内  
容や課題をどう反映させたのか。

## このような理由で、賛成しました

### 賛成

寺嶋 雅子 議員

(一般会計)

はなもも教室への県補助金が減少するが、不登校児童生徒の居場所として大きな役割を担うため、運営継続に向け、財源の確保を強く願う。

屋内遊戯施設なとりぱーくは、近年の猛暑の中、遊ぶ場所に困っていた親子にとって待望の屋内遊び場であり、運営に期待する。一方で、市内外区別なく完全予約制となるが、予約開始日の区別や、市の支援情報の提供など、市民に受益がある運営を望む。

なとりっこすくハピ応援事業での絵本贈呈について、親の膝に乗り絵本を読むことは、子供の情操を育む大切な経験である。幼少から本に親しむきっかけとなることを期待する。

### 賛成

菊地 忍 議員

(一般会計)

歳入では、市税について過去最高を見込んでいる一方で、ふるさと納税は減少傾向にある。本市の知名度アップとともに魅力ある返礼品として、新商品の開発により一層努めるよう望む。

歳出では、带状疱疹ワクチン定期接種が始まるが、带状疱疹は50歳代から発症率が高くなるため、定期接種対象前の50歳代から、独自に助成することを望む。

公園施設整備工事において、海の見える丘公園の駐車場整備として38台分増設されることは、要望していたものであり評価する。

学校トイレの洋式化を相互台小学校で実施するが、避難所となる学校体育館についても進めるよう望む。

### 賛成

小野寺 美穂 議員

(一般会計)

小学校給食費の値上げ分を物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の活用で据置きとしたことは評価するが、値上げ分への対応にとどまらず、学校給食費無償化を段階的に進めることを求める。この交付金を使い、指定管理先や委託先の支援も図るべき。

相互台小学校のトイレの洋式化を行うが、指定避難所となっていることから、充当率の高い緊急防災・減災事業債を活用すべき。また、ほかの学校のトイレの洋式化も、この地方債を活用して進めるべき。庁舎の時間外利用に対応するため、スポットクーラー2基が計上された。熱中症対策として非常に有効であると考える。

### 賛成

吉田 良 議員

(一般会計)

令和7年4月1日からの手倉田出張所への救急車の配備を評価する。令和4年2月時点では、救急車の配備計画について、手倉田出張所が業務開始してから、出動体制や管轄区域を十分に検証した上で検討したいとされていたが、議会からの強い要請により定数条例が改正され、消防職員定数が109名に引き上げられたことで、令和7年度からの配備が実現することとなった。

それに加え、消防救急デジタル無線システム更新による通信指令機能の強化、バスケット付ブームを搭載した水槽付消防ポンプ自動車への更新により、市内の消防機能強化及び適正配置への効果が期待される。

## 審議結果

### ▶賛否が分かれたもの

※ ○は賛成、×は反対

| 会議名    | 提出者 | 議案番号   | 件 名       | 審議結果 | 議員名（議席番号順） |      |       |      |      |      |      |      |     |      |      |       |      |     |      |     |       |      |       |      |
|--------|-----|--------|-----------|------|------------|------|-------|------|------|------|------|------|-----|------|------|-------|------|-----|------|-----|-------|------|-------|------|
|        |     |        |           |      | 阿部正義       | 今野慎介 | 佐藤さやか | 佐藤繁樹 | 鈴木英信 | 寺嶋雅子 | 二階堂充 | 熊谷克彦 | 笹森波 | 千葉栄幸 | 板橋美保 | 大久保主計 | 菅原和子 | 吉田良 | 大友康信 | 菊地忍 | 小野寺美穂 | 郷内良治 | 山田龍太郎 | 大泉徳子 |
| 第2回定例会 | 市長  | 議案第23号 | 土地の取得について | 可決   | ○          | ○    | ○     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ×   | ○    | ○    | ○     | ○    | ×   | ○    | ○   | ×     | ○    | ○     | ○    |

※地方自治法第116条の規定により、議長は表決に加わっておりません。

今期定例会において全会一致で可決した議案を含む、審議結果の一覧は、市議会ホームページの「審議結果」を御覧ください。



## 政策提言書を提出しました

市議会では、3つの常任委員会がそれぞれ市の課題を調査項目として選定し、調査研究を重ねています。

その結果を反映させた政策提言書を、教育長に提出しました。

政策提言書は、市議会ホームページで御覧いただけます。



### 民生教育常任委員会（3月25日）

#### 1 不登校問題対策について

- (1) こども家庭庁のこどもの居場所づくり支援体制強化事業等の利活用も視野に入れ、現在の子どものこころのケアハウスが市の東部地域にあるので、西部地域もしくは中心部にも不登校児童生徒に対応する居場所を設置すべき。



## No.1

## 人事案件に同意しました

今期定例会には、5か件の人事案件が提出されました。

## ◎人権擁護委員候補者

(2月20日上程・同日原案可決)

森谷 睦氏 (那智が丘)

小山 勝正氏 (小山)

## ◎副市長

(3月7日上程・同日原案同意)

渋谷 武志氏 (飯野坂)

門脇 雅之氏 (相互台)

## ◎固定資産評価員

(3月7日上程・同日原案同意)

渋谷 武志氏 (飯野坂)

## No.2

## 2月定例会では、1件の陳情が提出されました

## ○陳情

## ◆名取市一般廃棄物最終処分場用地選定に係る陳情

(名取の環境を守る会)

共同代表 今野 ゆう子氏 ほか1名

## No.3

## 議員提出議案 (意見書) について

市議会では2月定例会において「訪問介護報酬の引下げ撤回と介護報酬の引上げの再改定を早急に行うことを求める意見書」を全会一致で可決し、内閣総理大臣等宛てに提出しました。

## No.4

## 第1回臨時会 (1月24日)

## ◎議案第2号 令和6年度一般会計補正予算 (第12号)

名取市商工会との連携による5割増しのプレミアム分を付与したなとりコインの発行や、安全・安心な自転車走行空間の整備、道祖神愛島台線の改良工事にかかる費用を措置しました。

## ◎議案第3号 名取市が処理する事務の一部を取り扱う郵便局の指定について

令和7年7月1日から令和8年3月31日まで、電子証明書を含むマイナンバーカード更新の窓口体制を拡充するため、市が指定した郵便局で市の事務の一部を取り扱うこととしました。

## No.5

## 議員協議会 (1月24日)

名取市第六次長期総合計画後期基本計画 (案) について、また名取市津波避難計画 (案) について説明がありました。

## No.6

## 議員協議会 (2月19日)

第七次名取市行政改革大綱 (案) について説明がありました。



# N WATCH

エヌ・ウォッチ



会長 日下 礼子さん (中央)  
副会長 長沼 美雪さん (左)  
副会長 大久 幸枝さん (右)

今号の表紙を飾ってくれた、  
名取市女性防火クラブの皆さんからお話を伺いました。

## 現在の会員数は

増田地区3,884名、増田西地区2,805名、閑上地区424名、館腰地区1,188名、名取が丘地区1,751名、愛島地区1,102名、高館地区1,079名で市内合計54クラブの12,233名で活動しています。

## 「女性防火クラブ」へ名称変更の経緯は

全国の婦人防火クラブの8割が、婦人から女性へと変更しており、県に準じて変更しました。

## 主な活動・今後の活動は

令和6年の総合防災訓練では、数年ぶりに炊き出しを行いました。今後も総合防災訓練に参加し、炊き出しの大切さを広めたいです。

令和7年6月定例会は、  
**6月5日(木)**  
開会予定です。

## 議会を読もう

なとり市議会だよりは、2月、5月、8月、11月に発行しています。  
バックナンバーは、ホームページでも御覧いただけます。



## 議会を傍聴しよう

会議はどなたでも傍聴することができます。会議の日程は、市議会ホームページで御確認いただくか、議会事務局(022-384-2109)へお問い合わせください。



## 会議録を読もう

本会議及び財務常任委員会等の会議録をインターネットで公開しています。詳細な議論の内容の確認に、ぜひ御活用ください。



## 議会を動画で見よう

本会議や議員協議会の模様をインターネットで中継(生中継・録画中継)しています。ぜひ御活用ください。

※スマートフォンやタブレット端末での視聴にも対応しています。



## 議会に参加しよう

議会に対して陳情などを提出することができます。

陳情とは、特定の事項について議会などに実情を訴え、適切な措置を要望することです。

## 編集後記

委員

阿部 正義

「伝える」と「伝わる」では少し意味が変わってくるのではないのでしょうか。「伝える」は一方的に感じますが、「伝わる」は相手にしっかり情報が届いていることが分かります。

令和7年2月定例会では、補正予算案、条例改正案、令和7年度予算案等、各議員が様々な視点で審議しました。議会の中で、なぜそのような議案が上がり、何

を話し合われ決められたのか、そこに至るまでにはストーリーが必ずあります。

限られた紙面内でも、議会では何が決まったのか、本市がこれからどのように進んでいくのか、市民の皆様に「伝わる」よう、毎回の紙面づくりに努めてまいります。

名取市議会の情報はこちらから

名取市議会

検索

